

事業番号 2023 - 消費 - 22 - 0024

令和5年度行政事業レビューシート		(消費者庁)					
事業名	不当表示等違反事件調査			担当部局庁	消費者庁		作成責任者
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	表示対策課		課長 南 雅晴
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)			関係する計画、通知等	消費者基本計画工程表 施策番号 I(2)③ア、I(2)④ア、II(4)②、II(4)③		
政策	【1】消費者政策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	施策名:【1-⑦】消費者表示対策の推進						
政策体系・評価書URL							
事業の目的(5行程度以内)	本事業は、景品表示法に基づき、一般消費者を誤認させる表示等について厳正な法執行を行うとともに、違反行為等について公表することにより、一般消費者の注意を喚起し、消費者利益を確保することを目的とする。						
現状・課題(5行程度以内)	引き続き、景品表示法に基づき、一般消費者を誤認させる表示等について厳正な法執行を行っていく必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	景品表示法を運用し、違反行為に対して厳正に対処する。						
事業概要URL							
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	▲0.2	71	-	-
						-	-
						-	-
						-	-
						-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	71	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲71	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	64	62.8	61	155	84
		執行額(G)	47	47	47		
		執行率(%) =(G)/(F)	73%	75%	77%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	73%	75%	36%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	景品表示法違反事件調査経費					
	(目)	非常勤職員手当	68	68			
	(目)	審査活動費	9	9			
	(目)	審査活動旅費	5	5			
	(目)	諸謝金	1	1			
	(目)	委員等旅費	0.4	0.4			
		その他	1	1			
		計(A)	84	84			

活動内容① (アクティビティ)	景品表示法を運用し、違反事業者に対して厳正な対処を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	景品表示法に違反する事業者に対して厳正な対処を行うことにより、一般消費者の利益を確保する。	(参考指標) 排除措置命令件数、課徴金納付命令件数、指導件数	活動実績 当初見込み	総件数	224	228	170			
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
	不当表示等の事案に対し行政処分を行うなど所管法の厳正な執行を行い、これを公表して一般消費者に注意喚起することにより、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を確保し、消費者利益を確保することを定性的な目標とする。	-	成果実績			-	-	-	-	
			目標値			-	-	-	-	
達成度			%		-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度においては、不当表示等に対して景品表示法の規定に基づく措置命令・課徴金納付命令を行いこれを公表(計58件)、積極的な行政指導を実施(112件)及び一般消費者への注意喚起を実施することにより、一般消費者の自主的かつ合理的な選択を確保・消費者利益を確保した。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
			成果実績							
			目標値							
達成度			%		-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
			成果実績							
			目標値							
達成度			%		-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	本事業の目的は、景品表示法の厳正な運用を通じて、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するような表示等を排除し、一般消費者の利益を確保することにあるが、当該表示等の排除により、一般消費者の利益をどの程度保護することができたのかを測ることはできないため、定量的な指標を示すことは困難である。									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
	本事業では、景品表示法の執行により、同法に基く排除措置命令、課徴金納付命令及び行政指導が具体的な活動実績となるため。									

消費者庁
46.9百万円

【随意契約(少額)】

A. 検査機関等(1者)
1.0百万円

[景品表示法等違反事件調査に係る対象商品の分析検査・鑑定等]

【その他】

B. 職員(75名)
43.6百万円

[景品表示法等違反被疑事件調査に係る給与及び旅費等]

【随意契約(少額)】

C. 民間事業者等(6者)
0.8百万円

[景品表示法違反事件調査に必要な役務及び物品等の調達]

【その他】

D. 有識者等(7名)
1.5百万円

[景品表示法違反事件調査に係る意見書の執筆謝金等]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	景品表示法違反事件調査に係る試験鑑定	1	非常勤職員手当	景品表示法違反事件調査に係る非常勤職員Aの年間給与	5.4
計		1	計		5.4
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	判例検索等情報サービスの利用	0.3	諸謝金	景品表示法違反事件調査に係る意見書の執筆謝金	0.4
計		0.3	計		0.4
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

